

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	情報処理基礎 I
科目基礎情報					
科目番号	0202		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義, 演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気情報工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 最新社会と情報 ISBN: 978-4-407-20227-4 補助教材: 最新社会と情報学習ノート ISBN: 978-4-407-32861-5				
担当教員	村上 幸一				
到達目標					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1					
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 B-1 学習・教育到達度目標 C-2 学習・教育到達度目標 D-1					
教育方法等					
概要	情報を扱う上での倫理観、および情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。コンピュータや情報通信ネットワークの活用を通して、情報を適切に収集・処理発信するための基礎的な知識と技能を習得させる。				
授業の進め方・方法	教科書に沿って授業を進めていくことに加え、適宜、実習を行う。				
注意点	オフィスアワーは授業中に別途指示するが、メールでも質問を受け付ける。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 1. 情報社会とわたしたち (1) 情報社会	・情報化の光と影について理解し、具体例を示すことができる(A-1)	
		2週			
		3週			
		4週	(2) 情報社会の個人	・個人情報の概念や、個人情報保護について理解している(A-1)	
		5週			
		6週	(3) 情報とメディア	・情報やメディアの特徴、分類、特性について知識を持っている(B-1)	
		7週			
		8週	前期中間試験 試験返却・解説		
	2ndQ	9週	2. 情報機器とデジタル表現 (1) デジタルと情報機器	・情報機器の種類と特徴について理解している(B-1)	
		10週			
		11週	(2) デジタル表現	・情報を2進数で表現することについて理解している(B-1)	
		12週			
		13週	3. 表現と伝達 (1) 表現の工夫	・情報伝達する際の留意点について理解している(B-1)	
		14週	(2) 表計算ソフトの利用	・目的に応じて数値の変化や割合などをグラフで表現する知識がある(B-1)	
		15週	(3) プレゼンテーション	・プレゼンテーションの企画から制作・発表までを行うことができる(C-2)	
		16週	前期末試験 試験返却・解説		
後期	3rdQ	1週	(3) プレゼンテーション		
		2週			
		3週	(4) Webページの利用	・HTMLのタグを使って、Webページにテキストや画像などを入れることができる(C-2)	
		4週			
		5週			
		6週	5. コミュニケーションとネットワーク (1) コミュニケーション	・目的に適したコミュニケーションの方法を選択できる(D-1)	
	4thQ	7週	(2) ネットワーク	・各種インターネットのサービスを利用できる(C-2)	
		8週			
		9週	後期中間試験 試験返却・解説		
		10週	6. 法規とセキュリティ (1) 情報の管理・保護に関する法律	・著作権などの侵害事例で、どの権利を侵害しているかを適切に判断できる(B-1)	
		11週	(2) 情報セキュリティ	・情報セキュリティ技術の知識がある(B-1)	
		12週	7. 情報社会と問題解決 (1) 情報システムと人間	・社会における主な情報システムの種類と内容について理解している(B-1)	
		13週			

	14週	(2) 問題解決	・問題解決のための計画や情報収集を行うことができる(C-2)
	15週		
	16週	後期末試験 試験返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3		
			論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	3		
			コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3		
			情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3		
			同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在しつづることを知っている。	2		
			情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	3		
			個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	3		
			インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	3		
		インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	3			
		グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	
様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2					
異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2					
それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	2					
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	計算機工学	整数・小数をコンピュータのメモリ上でデジタル表現する方法を説明できる。	2	
				整数を2進数、10進数、16進数で表現できる。	2	
				小数を2進数、10進数、16進数で表現できる。	2	
				コンピュータを構成する基本的な要素の役割とこれらの間でのデータの流れを説明できる。	2	

評価割合

	定期試験	演習課題	学習ノート	合計
総合評価割合	60	30	10	100
成績	60	30	10	100